



## 令和2年度博・学連携 研究委員会議開催

6月3日（水）に今年度の第1回博・学連携研究委員会議を開催しました。

最初に高橋信雄館長が、「博物館の強みは、実物資料があることです。これを利用して先生方の授業のお手伝いをしたいと思います。」と挨拶をしました。

次に、今年度の博物館と学校との連携推進計画について説明しました。

### 博・学連携推進計画

- 1 先進施設視察研修
  - 2 学校団体の見学学習受け入れ
  - 3 出前授業，出前体験等の実施
  - 4 教育資料の貸し出し
    - ・視聴覚資料の紹介と貸し出し
    - ・学校から要望のあった資料の写真データを印刷し，学校へ提供
    - ・遊んで学べる「花巻人形カード」の作成を進める。
    - ・「縄文土器片」の貸出し
    - ・出前授業で使っている実物資料の貸出し（これには学芸員がつきます。）
  - 4 博・学連携推進研修会開催
    - ・出前授業プログラムの概要紹介
  - 5 博・学連携だよりの発行 1回/月
- 新型コロナウイルス拡散防止のため，次の連携推進事業は行わないこととなりました。**
- ・長期休業中の博物館主催のワークショップ(体験学習)
  - ・中学校生徒の職場体験受け入れ
  - ・企画展示等のギャラリートークへの市内小・中学校教職員の招待

### 今年度の博・学連携研究委員の先生方の紹介

#### 学校教育課主任指導主事

兼指導係長	及川 仁	先生
桜台小学校	米澤 勝	先生
矢沢小学校	佐藤 直志	先生
笹間第一小学校	加藤亜希子	先生
新堀小学校	三浦 逸子	先生
花巻北中学校	菊池 啓志	先生
湯口中学校	千葉 尚子	先生
矢沢中学校	阿部 桂子	先生
東和中学校	高橋 正也	先生

1年間よろしくお願ひします。

## 令和2年度博・学連携 推進研修会について

6月3日（水）には，博・学連携研究委員会議に続けて，令和2年度博・学連携推進研修会を，花巻市内の小・中学校から1名ずつ参加いただいて開催しました。

この研修会は，例年8月の上旬に半日計画で開催していたものです。今年度は先生方の負担減をねらい，今回のような形で開催をしました。

今回の研修会の内容は，開催要項でもお知らせしていた通り，出前授業プログラムの概要紹介でした。新型コロナウイルスへの感染が心配され，バスでの移動に細心の注意が必要とされる現在ですので，児童・生徒が学校に居て，学芸員の解説等を聞いて学習できる出前授業を利用していただきたいと思います。

## 博物館に来られないこんな時だから 授業で使える博物館常設展示の紹介②



みぞがた  
花巻市博物館 溝形落とし穴

花巻市博物館に展示してある溝形落とし穴を半分に断ち割った模型です。円万寺館遺跡の発見例から推定復元したものです。

落とし穴は旧石器時代から使われていましたが、縄文時代になって発展したといわれています。穴の直径が3～4mの落とし穴が多く、丘陵地の近くの平らな場所にもつくられたようです。

### 縄文人の主食は？

縄文人の主食は、どんぐり、トチ、クリ、クルミなどと考えられています。



食料は、土に穴を掘って、その穴（貯蔵穴）に入れて保存していました。貯蔵穴が、口が狭く底が広いフラスコ形に作られているのは、内部の温湿度を一定に保つためと考えられています。

中には、深さ2m以上になる大型の貯蔵穴も見られます。（花巻市博物館貯蔵穴の説明より）



ちぞうけつもけい  
花巻市博物館 貯蔵穴模型

### 埋められた土器



埋められた土器が発見された縦穴住居跡



逆さに埋められた土器



竪穴住居

約4500年前、住居の内部に土器を埋め込む風習が流行しました。その多くは、底部に穴をあけた大型の深鉢を、逆さまに埋めています。内部からは何も発見されず、用途については謎の多い施設です。日常生活用具ではなく、信仰や儀式に関わるものではないかと思われ、特に子供の出産や死に際して使われた施設と考える説があります。

（花巻市博物館埋められた土器の説明より）